

## 平成 27 年度事業報告 【要約編】

平成 27 年度は、公益社団法人への移行 4 事業年度目を迎え、その移行をより確かなものとするため、**社会貢献**と**会員への支援**を両輪として事業を展開し、その結果、概ね順調に終了した。

### 《社会貢献》

#### 1 不法投棄防止活動

##### (1) 街頭キャンペーンや統一パトロールへの参加協力

6 月の環境月間や 12 月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに支部毎に取り組み、役員等計 208 名が参加、協力した。

##### (2) 不法投棄廃棄物の回収作業等の実施

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計 182 名の参加により、県内 5 か所の不法投棄廃棄物の回収作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力したこともあって、例年の実績を大幅に上回る 62 t を超える不法投棄廃棄物を回収した。

なお、この富士支部の回収作業は、TV 放映や新聞報道された。

#### 2 災害対策支援事業の実施

平成 28 年 1 月 15 日に静岡県が実施した地震対策大規模図上訓練に併わせて、会員企業 352 社の参加による災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

また、環境省中部地方環境事務所や静岡県が主催する災害廃棄物処理に関する会議等に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

#### 3 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんぱい探偵団」の実施

平成 5 年度から 23 年間継続実施している、「ぼくらはさんぱい探偵団（夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会）」は、7 支部 8 コースで実施し、小学生の親子等計 139 組、346 名が参加した。

「大きなごみをぎゅっと小さくして燃料としてまた使えるなんてすごい！家庭でももっとリサイクルを意識していきたい。」「自分のできるリサイクルについて考えさせられた。」「不法投棄に最高 1 千万円の罰金が科せられるというのには驚いた。」などといった参加者の感想文にみられるように、この事業は身近な環境学習の場の提供として意義のあるものに育っている。

#### 4 大学生を対象とした処理施設視察会等の実施

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生を対象に各 1 回実施し、両大学併せて学生・教授等 60 名が参加した。両大学とも、この視察会及び意見交換会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

## 5 環境イベント等への参加による啓発活動

各支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。東部支部では、会員企業が提供したリサイクル品等を販売し、その売上収益金約15万円を慈善事業に寄託した。

## 《会員への支援》

### 1 情報の収集・提供

#### (1) 全国的な会議等への参加による情報収集

(公社)全国産業廃棄物連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計15回)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

#### (2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応

機関誌「しずおかの産廃」、ホームページや環境情報配信サービス等により、会員へのタイムリーな情報提供に努めるとともに、会員からの相談にも随時対応した。

### 2 各種講習会・研修会の開催

#### (1) 実務向上研修会等の開催

産廃処理に係る実務の向上等を図るための「産業廃棄物処理実務者研修会」や「電子マニフェストシステム実務研修会」、優良認定制度普及研修会等を静岡市や三島市等で9回開催し、計372名の参加があった。

特に、当協会の職員が講師を務めた電子マニフェストの研修会などは好評であった。

#### (2) 産業廃棄物処理業許可等講習会の開催

(公社)全国産業廃棄物連合会等と連携協力し、新規許可申請者や更新許可申請者等を対象とした講習会を11回開催し、計1,455名の参加があった。

#### (3) 暴力追放推進に関する講習会の開催

暴力追放の推進を図るため、昨年12月に開催した「不当要求防止責任者講習会」では68名の参加があった。

#### (4) 各支部主催の勉強会等の開催

各支部において、「実例で見る廃棄物の過去、現在とこれから」や「産業廃棄物処理における指導事例」などといったテーマによる勉強会等を7回開催し、合わせて967名の参加があった。

### 3 専門部会等の活動

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社)全国産業廃棄物連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

このうち、医療廃棄物部会は、県と締結した「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の実効性を確保するため、県の鳥インフルエンザ防疫演習などに参加した。

また、食品廃棄物部会は、平成28年1月に愛知県下で発生した廃棄食品の不正転売事案を踏まえ、急遽部会員を対象とした食品廃棄物に関する勉強会を開催した。

青年部会は、中部ブロック事業への参加・交流や平成28年5月に静岡県で開催される平成28年度中部ブロック総会の開催準備等において精力的に活動した。

## 4 先進事例等の視察研修会の実施

### (1) 本部主催の視察研修会

幅広く環境情報等を収集するため、昨年5月に東京ビッグサイトで開催された「2015NEW環境展」を会員等96名が参加し視察研修を行った。

### (2) 各支部主催の視察研修会

各支部毎に昨年秋から今年の春にかけて会員等合わせて102名が参加し県内外の優良施設等を対象に視察研修を行った。

## 5 表彰

### (1) 知事褒賞

昨年6月8日に開催された定時総会に先立ち、平成26年度産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞授与式が行われ、会員企業1社が受賞された。

### (2) (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰

昨年6月8日に開催された定時総会に併せて平成26年度会長表彰が行われ、功労者表彰4名、優良従事者表彰9名、優良事業所表彰1社が受賞された。

### (3) (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰

昨年6月12日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会定時総会に併せて平成27年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰2名、優良従事者表彰1名の受賞があった。

## 《管理運営》

### 1 定時総会・理事会等の開催

定時総会が昨年6月に、また、理事会が昨年4月、10月、今年の3月に開催され、予算や決算、定款の一部変更等に関する議案の決議が行われるとともに、事業報告等も行われた。

また、運営、適正処理、広報等の各委員会も必要に応じて開催され、活発な議論等が行われた。

### 2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

講習会などにおいて入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、12件の入会にとどまった。その一方で40件の退会等があったため、平成27年度末の会員総数は1,090会員となっている。

※ この要約編は、「社会貢献」、「会員への支援」、「管理運営」という3つの切り口でその要点を詳細編から抜き出してとりまとめているので、詳細編の項目等とは必ずしも一致するとは限らない。

## 平成 27 年度 事業報告 【詳細編】

### I 公益目的事業

#### 1 適正処理推進事業

##### (1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5月30日から6月5日）や環境月間（6月）に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

##### i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成 27 年 6 月 5 日

実施機関		場 所	協会参加者
静 岡 県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	沼津市、三島市、裾野市、伊豆の国市、長泉町、御殿場市	東部支部役員 13 名
	中部 //	焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 13 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 3 名
静岡市 ※		静岡市	中部支部役員等 21 名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 13 名
計			65 名

※静岡市はパトロールと回収作業を実施した。（実施日 5月29日）

##### ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成 27 年 6 月 2 日

実施機関		場 所	協会参加者
静 岡 県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 16 名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	J R 富士駅	東部・富士支部役員等 19 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 10 名
	西部 //	マックスバリュ磐田新貝店	中遠支部役員 11 名
計			58 名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間（12月）に静岡県等の実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成27年12月1日 \*浜松市・西部支部は、平成27年10月18日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 14 名
	賀茂健康福祉センター	マックスバリュ伊豆下田店	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	J R 沼津駅	東部・富士支部役員等 17 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 11 名
	西部 //	J R 磐田駅	中遠支部役員等 8 名
浜松市・西部支部		浜名湖ガーデンパーク	西部支部役員等 6 名
計			59 名

ii) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成27年12月4日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員 12 名
	中部 //	焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 9 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 2 名
計			26 名

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において不法投棄廃棄物の回収作業等を実施した。

実施日／実施機関	場所	実績	参加者
平成27年5月29日 中部支部・静岡市	静岡市 清水区	一般廃棄物等 0.55 t	中部支部役員、静岡市職員 等 29 名
10月7日 富士支部・県廃棄物リサイクル課・東部健康福祉センター	富士宮市	がれき類 49.03 t	富士支部役員、県廃棄物リサイクル課職員、東部健福職員等 22 名
11月20日 西部支部・浜松市	浜松市 西区	一般廃棄物 1,970 kg、 産業廃棄物 360 kg	西部支部会員、浜松市職員、 自治会 72 名
11月25日 中遠支部・西部健康福祉センター	磐田市	廃タイヤ 8,960 kg	中遠支部会員、西部健福職員 43 名
12月4日 中部支部・静岡市	静岡市 葵区	一般廃棄物等 1.18 t	中部支部役員、静岡市職員 等 16 名
計			182 名

- ④ 平成 27 年 5 月 18 日に岐阜県岐阜市において中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」が開催され、国、中部四県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）及びその政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等をした。

(2) 災害対策支援事業

- ① 平成 27 年 4 月 30 日に静岡市で開催された「静岡県災害廃棄物処理計画に関する連絡会（主催：静岡県）」に災害対策委員と事務局が出席した。
- ② 平成 28 年 1 月 15 日に静岡県が実施した地震対策大規模図上訓練に併わせて、災害廃棄物処理等の協力可能会員 352 社が参加して、災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ③ 平成 28 年 2 月 22 日に愛知県で、3 月 29 日に福井県で開催された「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会（主催：環境省中部地方環境事務所）」に事務局が出席した。

## 2 適正処理啓発事業

### (1) ぼくらはさんぱい探偵団事業

- ① 廃棄物にかかわる環境学習の場の提供として、平成27年7月28日から8月7日にかけて、「ぼくらはさんぱい探偵団（夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会）」を7支部で実施（中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施）し、小学生親子等139組346名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	平成27年 8月4日	・(株)駿河サービス工業 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	9組22名
東部	8月7日	・(株)ヤクルト本社富士裾野工場 ・(株)駿河サービス工業	19組47名
富士	8月5日	・(株)明治東海工場 ・(株)チューサイ	17組44名
中部 (清水地区)	8月4日	・御殿場市一般廃棄物処理事業協同組合「ゆめかまど」 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	17組44名
中部 (静岡地区)	8月6日	・(株)明治東海工場 ・(株)チューサイ	20組49名
志太榛原	8月5日	・本田技研工業(株)トランスミッション製造部 ・(株)リサイクルクリーン袋井工場	21組51名
中遠	7月30日	・ヤマハ発動機(株) ・(株)富士エコサイクル	19組44名
西部	7月28日	・(株)太洋サービス ・本田技研工業(株)トランスミッション製造部 ・浜松市エコハウスモデル住宅	17組45名
計			139組346名

- ② 参加した小学生親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。

### (2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会及び意見交換会を2回実施した。

なお、両大学とも、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
平成27年11月16日	・富士フィルム(株)富士宮工場 ・(株)ミダック富士宮事業所	静岡県立大学大学院食品栄養環境科学専攻生・環境生命科学科生及び教員38名
12月22日	・(株)ヤマハピアノ製造 ・(株)リサイクルクリーン袋井工場	静岡大学人文社会科学部法学科・経済学科生及び教員22名

(3) 展示会等出展事業

3Rの推進など循環型社会構築への理解を図るため、各支部において地域の環境イベント等に出展・参加し、啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
伊豆	平成 27 年 11 月 1 日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・啓発ティッシュの配布等	役員等 6 名
東部	平成 28 年 2 月 14 日	「2016 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・売上収益 (146,850 円) を寄託	役員等 14 名
富士	平成 27 年 11 月 7 日	「富士市産業まつり商工フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等 10 名
中部	10 月 3 日	「第 13 回静岡市ごみリサイクル展」 ・廃食油を使ったエコキャンドル作りの体験	役員等 6 名
志太榛原	11 月 22 日	「牧之原市環境フェア in まきのほら産業フェア 2015」 ・空き缶回収、環境クイズ等の実施	役員等 11 名
西部	8 月～9 月	浜松市西部清掃工場において、支部会員の環境等報告書を展示	支部会員 12 社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社) 全国産業廃棄物連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	出席者 (協会)
平成 27 年 5 月 12 日	浜松市	中部地域協議会第 1 回専務理事会議	専務理事
15 日	東京都	全国正会員事業研修	担当者
6 月 12 日	東京都	第 5 回定時総会	会長、副会長、専務理事、理事
7 月 10 日	岐阜市	中部地域協議会第 1 回会長・理事長会議	副会長、専務理事
		中部地域協議会第 1 回全体会議	副会長、専務理事、理事
31 日	東京都	第 1 回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
10 月 13 日	大府市	中部地域協議会第 2 回専務理事会議	専務理事
11 月 6 日	佐賀市	第 14 回産業廃棄物と環境を考える全国大会	副会長、専務理事
平成 28 年 1 月 15 日	東京都	新年賀詞交歓会	会長、副会長、専務理事
25 日	四日市市	中部地域協議会第 3 回専務理事会議	専務理事
29 日	東京都	第 2 回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2 月 26 日	神戸市	全国正会員会長・理事長会議	副会長、専務理事
3 月 3 日	東京都	第 1 回教育研修委員会	専務理事
9 日	四日市市	中部地域協議会第 2 回会長・理事長会議	副会長、専務理事
		中部地域協議会第 2 回全体会議	副会長、専務理事、理事

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可事務をはじめ、適正処理やリサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により日常的に対応した。

(3) 講習会事業

①環境管理講座

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 27 年 11 月 9 日	静岡市	・ 静岡県の産業成長戦略と県融資制度について ・ 環境経営の持続的取組み ・ 循環型社会に向けて	46 名

②産業廃棄物処理実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 27 年 7 月 9 日	静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース－」 ・ 産業廃棄物の基礎 ・ 産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・ 産業廃棄物管理票、帳簿	149 名

③電子マニフェストシステム実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 27 年 8 月 28 日 8 月 26 日 9 月 2 日	三島市 静岡市 浜松市	「電子マニフェストシステム実務研修会」 ・ 電子マニフェストシステムの仕組みと運用 ・ 電子マニフェストシステムの操作体験	計 81 名

④平成 27 年度産業廃棄物処理業者優良認定推進事業【県委託事業】

i) 産業廃棄物処理業者優良認定制度普及研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 27 年 9 月 3 日	静岡市	[基礎研修] ・ 静岡県における産業廃棄物処理優良認定制度 ・ 優良認定業者を目指すには ・ 優良認定制度活用事例 [実務研修] ・ 産廃処理業者が陥りやすい法令違反 ・ 環境保全への取組み ～エコアクション21のご案内～ ・ 優良認定に係る手続き	計 78 名

ii) 産業廃棄物処理業者優良認定制度実践研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 27 年 10 月 16 日 11 月 13 日 11 月 27 日	静岡市	産廃情報ネット「さんぱいくん」を利用した情報公表のための入力作業を行い、優良産業廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す研修会。	計 14 社 (18 名)

#### (4) 専門部会活動事業

##### ①医療廃棄物部会

- i) 平成 27 年 6 月 30 日、8 月 21 日、平成 28 年 2 月 23 日に幹事会を開催し、廃棄物処理法の見直しに関する意見及び部会事業等について協議した。
- ii) 平成 28 年 3 月 15 日に総会を開催し、平成 28 年度事業等について協議した。
- iii) 平成 27 年 11 月 11 日に浜松市で実施された「静岡県鳥インフルエンザ防疫演習（主催：静岡県）」、平成 28 年 1 月 20 日に磐田市で実施された「西部地域口蹄疫防疫訓練（主催：県西部危機管理局等）」に部会幹事及び事務局が参加した。  
なお、静岡県鳥インフルエンザ防疫演習には、県の要請により処理業者会員から運搬車両 1 台、積込車輛 1 台を手配し、実演に協力した。
- iv) 平成 27 年 9 月 11 日に当協会、(一社) 東京都産業廃棄物協会、(公社) 神奈川県産業廃棄物協会との医療廃棄物合同懇談会が開催され、部会幹事及び事務局 3 名が出席した。
- v) 平成 27 年 6 月 3 日、平成 28 年 2 月 25 日に開催された(公社) 全国産業廃棄物連合会医療廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。

##### ②建設廃棄物部会

- i) 平成 27 年 7 月 3 日、9 月 18 日、平成 28 年 2 月 5 日に幹事会を開催し、廃棄物処理法の見直しに関する意見及び部会事業等について協議した。
- ii) 平成 28 年 3 月 2 日に総会及び視察研修会を開催し、平成 28 年度事業等について協議した。  
視察研修会には、部会員 10 名が参加して、浜松市沿岸域防潮堤整備事業を見学した。
- iii) 平成 27 年 6 月 17 日、12 月 22 日に開催された(公社) 全国産業廃棄物連合会建設廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。

##### ③食品廃棄物部会

- i) 平成 28 年 2 月 9 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 平成 28 年 3 月 16 日に総会及び勉強会を開催し、平成 28 年度事業について協議した。  
勉強会には、部会員 16 名が参加し、鎌田環境コンサルタント 代表 鎌田俊巳氏の「ダイコーに学ぶ食品廃棄物の適正処理委託」及び県健康福祉部生活環境局衛生課職員の「廃棄食品の横流し事案に関する食品衛生上の問題点」についての講話を受講した。

##### ④青年部会

- i) 平成 27 年 4 月 7 日、6 月 12 日、10 月 29 日、平成 28 年 1 月 20 日、3 月 29 日に幹事会を開催し、平成 27 年度事業や中部ブロック総会開催計画等について協議した。

ii) 平成 27 年 6 月 12 日に総会及び勉強会を開催し、平成 26 年度事業等の報告をした。

勉強会には、部会員 19 名が参加し、ワンホープビジネスコンサルティング 代表 北川裕章氏の「産廃業者が緊急事態を生き抜くために～災害対応と BCP～」についての講話を受講した。

iii) 平成 27 年 9 月 11 日の視察研修会には、部会員 10 名が参加して、国立研究開発法人産業技術総合研究所サイエンス・スクエアつくば及び JAXA 筑波宇宙センターを見学した。

iv) 平成 28 年 1 月 29 日に部会員交流会を開催し、部会員相互の親睦を深めるとともに、情報交換等をした。

#### (5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、行政当局から寄せられた情報、協会本部や各支部の活動状況等に関する各種情報を提供した。

② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

### 4 産業廃棄物管理票（マニフェスト）頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を頒布した。

#### 【平成 27 年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	249,200
建設マニフェスト	81,900
合 計	331,100

### 5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

#### (1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

① (公社) 全国産業廃棄物連合会及び(公財) 日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 11 回開催し、計 1,455 名の参加があった。

#### 【受講状況】

種 類	開催回数(回)	参 加 者 (名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	378
〃 【更新】	3	455
産業廃棄物処分課程 【更新】	1	89
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	533
計	11	1,455

- ② 平成 28 年 2 月 22 日に東京都で開催された「平成 28 年度許可申請に関する講習会における事務取扱説明会（主催：（公社）全国産業廃棄物連合会）」に事務局が出席した。

## II 会員相互の扶助事業

### 1 支部運営事業

各支部（伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部）では、支部の運営、適正処理、広報の 3 委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

(2) 「支部だより」の発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者(名)	備考
伊豆	平成 27 年 6 月 23 日	「柳家ほたる」による落語	11	
東部	平成 28 年 3 月 17 日	「講習会」 ・立入検査における指導状況について ・江川英龍と反射炉	40	
富士	3 月 8 日	「合同勉強会」 ・実例で見る廃棄物の過去、現在とこれから ・富士市の大気の現状について	71	(一社)富士 環境保全協 会と共催
中部	3 月 14 日	「講習会」 ・実例で見る廃棄物の過去、現在とこれから ・規則の改正等について	69	
志太榛原	3 月 18 日	「勉強会」 ・産業廃棄物処理における指導事例 ・廃棄食品転売事例について ・県からのお知らせ・お願い	64	
中遠	平成 27 年 7 月 17 日	「排出事業者向け適正処理研修会」 ・現場見学と意見交換	12	
西部	平成 28 年 2 月 26 日	「浜松市産業廃棄物の適正処理に係わる説明会」 ・廃棄物行政を追懐しての恣意 ・水銀条約と水銀廃棄物の今後の処理について ・廃棄物管理のよくある質問 「特別講演」 ・違反事例に学ぶ廃棄物処理法	700	浜松市 と共催
計			967	

#### (4) 視察研修会の実施

##### ①優良施設視察研修

支部名	開催日	見 学 先	参加者(名)
伊豆	平成 27 年 11 月 18 日	「優良施設視察研修会」 ・(株)太洋サービス (浜松市)	6
東部	11 月 19 日	「優良施設視察研修会」 ・(有)飯室商店 (神奈川県) ・(株)三友プラントサービス (神奈川県)	19
富士	11 月 26 日～27 日	「優良施設視察研修会」 ・フェニックスメタル(株)市原事業所 (千葉県) ・昭和電工(株)川崎事業所 (神奈川県)	11
中部	10 月 22 日～23 日	「優良施設視察研修会」 ・びわ湖環境ビジネスメッセ 2015 (滋賀県)	17
志太榛原	11 月 6 日	「第 1 回視察研修会」 ・メッセナゴヤ 2015 (愛知県)	13
	平成 28 年 3 月 4 日	「第 2 回視察研修会」 ・(株)大村屋酒造場 (島田市) ・石原水産マリンステーション (焼津市)	20
中遠・西部	平成 27 年 11 月 14 日	「廃棄物処理技術視察会」 ・岐阜市北部プラント (岐阜県) ・木村メタル産業(株)エコテクノロジーセンター (岐阜県)	16
計			102

## 2 意識啓発向上事業

### (1) 視察等事業

県外優良施設の視察研修は、平成 27 年 5 月 27 日に「2015NEW環境展」を対象に会員 96 名の参加により実施し、廃棄物処理、リサイクル技術、企業の環境経営等の情報収集に努めた。

### (2) 暴力追放推進事業

① 平成 27 年 6 月 8 日に「(公社) 静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会 第 16 回大会」を開催し、暴力追放宣言を斉唱した。

② 平成 27 年 12 月 9 日に「不当要求防止責任者講習会」を開催し、会員 68 名が参加した。受講者には、静岡県公安委員会より受講修了書が発行された。

③ 平成 27 年 10 月 27 日に焼津市内において開催された「第 33 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に中部支部、志太榛原支部役員等 14 名が参加した。

### (3) 労働安全衛生事業

① 平成 27 年 9 月 17 日に安全衛生委員会を開催し、平成 27 年度安全衛生事業について協議した。

- ② 平成 27 年 10 月 20 日に安全衛生講習会を開催し、静岡労働局による「改正労働安全衛生法」の説明に会員 33 名が受講した。

(4) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

平成 27 年 6 月 8 日の定時総会に先立ち平成 26 年度知事褒賞授与式が行われ、会員企業 1 社が受賞した。

【受賞者】

・ 鈴与建設(株)

② (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰

平成 27 年 6 月 8 日の定時総会に先立ち平成 26 年度会長表彰が行われ、功労者表彰 4 名、優良従事者表彰 9 名、優良事業所表彰 1 社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(株)駿河サービス工業 向笠 光夫
	大興製紙(株) 鈴木 照明
	木内建設(株) 持塚 益秀
	協会事務局 稲葉 育美
優良従事者表彰	セキトランスシステム(株) 廣瀬 和子
	セキトランスシステム(株) 鈴木 謙次
	丸徳商事(有) 内藤 勝弘
	丸徳商事(有) 遠藤 圭吾
	日徳産業(有) 西山 章代
	(有)エー・ワイ環境開発 塚崎 悟
	スズキ(株)湖西工場 竹内 典之
	矢崎エナジーシステム(株)天竜工場 太田美代子
	(株)ソミック石川 鈴木 健一
優良事業所	(株)チューサイ

③ (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰

平成 27 年 6 月 12 日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会の定時総会に併せて行われた表彰式において、当協会会員の中から、功労者表彰 1 名、地方功労者表彰 2 名、優良従事者表彰 1 名の受賞があった。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	セキトランスシステム(株) 関 則雄
地方功労者表彰	(株)フジタ 藤田 馨
	西伊豆貨物自動車(株) 森 敏
優良従事者表彰	(株)トーカイ 米山 和範

### Ⅲ 管理運営

#### 1 定時総会・理事会等の開催

##### (1) 定時総会

平成 27 年 6 月 8 日にグランディエールブuketーカイで平成 27 年度定時総会が開催され、議案 3 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 1 件が行われた。

##### 【決議事項】

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び平成 26 年度収支決算書

第 2 号議案 定款の一部変更

第 3 号議案 理事の選任

##### 【報告事項】

(1)平成 27 年度事業計画書及び平成 27 年度収支予算書

##### 【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 1,063 名

決議に必要な会員数 第 1 号議案及び第 3 号議案 532 名

第 2 号議案 709 名

出席会員数 769 名

(議決権行使書面によるもの 665 名含む)

##### (2) 理事会

① 平成 27 年 4 月 24 日に静岡グランドホテル中島屋で第 1 回理事会が開催され、議案 4 件が原案どおり決議（承認）され、そのうち 3 件が平成 27 年 6 月 8 日開催の定時総会に付議された。

また、報告 2 件が行われた。

##### 【決議事項】

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び平成 27 年度収支決算書

第 2 号議案 定款の一部変更

第 3 号議案 理事の選任

第 4 号議案 新規会員の入会

##### 【報告事項】

(1)新規会員の入会促進のためのパンフレットの作成・配布

(2)平成 26 年度第 4 四半期（平成 27 年 1 月～3 月）事業の実施状況

##### 【出席等】

理事総数 29 名

決議に必要な理事の数 15 名

出席理事数 23 名

出席監事数 2 名

② 平成 27 年 10 月 26 日に静岡グランドホテル中島屋で第 2 回理事会が開催され、議案 2 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 4 件が行われた。

**【決議事項】**

第 1 号議案 新規会員の入会

第 2 号議案 給与規程の一部改正

**【報告事項】**

(1)理事 2 名の辞任と関連公認人事

(2)次期（平成 28～29 年度）役員改選スケジュール

(3)「廃棄物処理法の見直しに関する意見（事務局素案）」に対する意見の提出

(4)平成 27 年度上半期事業の実施状況

**【出席等】**

理事総数 27 名

決議に必要な理事の数 14 名

出席理事数 19 名

出席監事数 1 名

③ 平成 28 年 3 月 25 日に静岡グランドホテル中島屋で第 3 回理事会が開催され、議案 6 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 6 件が行われた。

**【決議事項】**

第 1 号議案 平成 28 年度事業計画書及び平成 28 年度収支予算書

第 2 号議案 平成 28 年度定時総会の開催

第 3 号議案 理事会による理事候補者の推薦

第 4 号議案 新規会員の入会

第 5 号議案 会員証の作成、倫理綱領の制定及び誓約書の提出

第 6 号議案 平成 27 年度会長表彰

**【報告事項】**

(1)次期（平成 28～29 年度）役員候補者の選定状況

(2)廃棄食品が不適正に転売された事案に係る当協会の対応

(3)不適正処理事案に係る撤去作業への協力

(4)平成 28 年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦

(5)廃棄物処理法の見直しに関する意見（案）

(6)中部地域協議会からの「全産連」役員等候補者の推薦

**【出席等】**

理事総数 27 名

決議に必要な理事の数 14 名

出席理事数 17 名

出席監事数 0 名

(3) 運営委員会

平成 27 年 4 月 17 日、10 月 6 日、平成 28 年 1 月 27 日、3 月 15 日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。

(4) 適正処理委員会

平成 27 年 7 月 2 日、9 月 17 日に適正処理委員会が開催され、適正処理事業等についての協議が行われた。

(5) 広報委員会

①会議

平成 27 年 5 月 15 日、9 月 8 日、12 月 8 日、平成 28 年 3 月 11 日に広報委員会が開催され、機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんぱい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画等についての協議が行われた。

②主な広報PR

- i) エフエム放送局 K-M I X 社が 6 月に実施する「グリーンスタイルキャンペーン」に協賛して、エコ新聞への広告掲載やラジオ CM による当協会の PR を行った。
- ii) 平成 27 年 10 月 7 日の富士支部が富士宮市根原で実施した不法投棄廃棄物回収作業がテレビ放映及び新聞掲載された。
- iii) 東部支部の平成 28 年 2 月 14 日開催の「2016 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金 (146,850 円) の「愛の都市訪問」への寄託が新聞に掲載された。

(6) 災害対策委員会

平成 27 年 4 月 9 日、9 月 25 日、平成 28 年 2 月 3 日に災害対策委員会が開催され、静岡県災害廃棄物処理計画への対応等について協議するとともに、県廃棄物リサイクル課と災害廃棄物処理等に関する協定の運用等について意見交換した。

## 2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

### (1) 新規会員の加入促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、12件の入会にとどまった。

その一方で40件の退会等があったため、平成27年度末の会員総数は1,090会員となった。

#### 【平成27年度会員数の推移】

区 分		平成27年 4月1日	入 会	退 会	平成28年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収 集 運 搬	364	2	17 (1)	349
		中 間 処 分	311	6	10	307
		最 終 処 分	33	0	1	32
	小 計		708	8	28 (1)	688
	排 出 事 業 者	排 出 事 業 者	328	3	10	321
		団 体	28	0	0	28
	小 計		356	3	10	349
	計		1,064	11	38 (1)	1,037
	賛 助 会 員		54	1	2	53
	合 計		1,118	12	40 (1)	1,090

#### ※退会等の主な理由

- ・ 処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が1年以上未納等
- ・ 排出事業者と賛助会員では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の（ ）の数字は、内数で、会費の1年以上未納等による会員資格の喪失

※入会・退会の欄の数字は、区分変更をした会員を含む

(収集運搬から中間処理へ変更3社、中間処理から収集運搬へ変更1社、中間処理から排出事業者へ変更1社)

### (2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや環境情報の配信等に役立てた。